

aiwa

aiwa audio -G CRC0002

GAA5-CRC0002

ユーザーマニュアル

aiwa audio -G CRC2

ご使用の前に

本製品を正しくご使用していただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。お読みになった後は大切に保管し、わからないことや困ったことがあった時にお役立てください。

※本書の内容を無断で転載や複写をしないでください。
※記載の外観および仕様は改良のため予告なく変更することがあります。
※本書記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。
※当社では常に製品の品質改善を行っており、お客様のご購入時期によりましては同一製品の中にも多少の差があるものがございますがご了承ください。
※本書の内容につきましては、将来予告なしに変更することがあります。
※本書記載の社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

目次

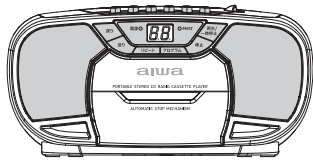
セット内容	P2
製品仕様	P2
ご使用前のおことわり	P3
安全上のご注意	P3～P6
各部の名称と使用方法	P7～P8
CDの取り扱いに関するご注意	P9
ラジオの 受信状態に関するご注意	P10
カセットテープの 取り扱いに関するご注意	P10
CDの使い方	P11～P12
ラジオの使い方	P12
カセットデッキの使い方	P13
イヤフォンの接続方法	P13
故障かな？と思ったら	P14
アフターサービス	P15
保証書	P15

セット内容

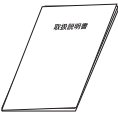
本製品のパッケージ内には以下のセット内容が含まれます。ご確認ください。

※イラストと実際の形状は、変更になるなど、若干異なる場合があります。

■ 本体



■ ユーザーマニュアル(本書)
[保証書添付]



■ 電源ケーブル



■ aiwaユーザー登録のご案内

製品仕様

本体サイズ	幅 約29.5 × 奥行 約22.0 × 高さ 約20.5 cm
本体重量 (電池除く)	約 1.6 kg
本体材質	ABS樹脂 他
電源	AC100V(50/60Hz)
使用乾電池	単二乾電池 ×6本 (別売り、アルカリ電池推奨)
乾電池使用可能時間目安(※)	CD: 約8時間 / ラジオ: 約18時間 / テープ: 約12時間
消費電力	11W
スピーカー出力	1.2W x 2
出力端子	3.5mmステレオイヤフォンジャック
AMラジオ	540 ~ 1,600 KHz
FMラジオ	76 ~ 108 MHz ワイドFM対応、ステレオ / モノ切替式
カセットデッキ	TYPE1(ノーマルポジション) / 録音、再生可能
CD	対応ディスク: CD/CD-R/CD-RW 対応データ: CD-DA方式のみ対応

※新品のアルカリ電池を使用し、音量中程度で使用した場合。ご使用の環境・音量等の設定により使用可能時間は前後します。

ご使用前のおことわり

- お客様、または第三者が本製品のご使用を誤ったことによって生じた故障や不具合、またはそれらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いません。あらかじめご了承ください。
- お客様または第三者が本製品の使い方を誤った場合や、静電気や電氣的ノイズの影響を受けた場合、または故障、修理の際は、記録内容が変化したり、消失したりする恐れがあります。また、当社は一切その責任を負いません。あらかじめご了承ください。
- 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷、お買い上げ後の輸送、落下による故障及び破損が認められる場合、いかなる事由においても修理・交換はいたしかねますことを、あらかじめご承知ください。
- 本製品は日本国内でのみ使用できます。

■安全上のご注意

お使いになる前にならずお読みください。

次の警告表示は、注意事項を守らなかった場合に起こりうる事故の程度を表します。



警告

取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重症(※1)を負うことが想定されるもの



注意

取り扱いを誤った場合、使用者が障害(※2)を負うことが想定されるもの、または物的損害(※3)の発生が想定されるもの

※1: 重症とは、失明やケガ、火傷(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期にわたる通院を要するものを指します。

※2: 障害とは、治療に入院や長期にわたる通院を要さないケガや火傷、感電などを指します。

※3: 物的損害とは、家屋、家財、および家畜やペットなどにかかわる拡大損害を指します。

次の記号は、その注意事項の内容を表します。

 禁止 (してはいけないこと)	 水ぬれ 禁止	 ぬれ手 禁止
 分解禁止	 指示	 電源プラグ を抜く
分解しないこと		電源プラグを抜くこと



警告



- 下記の問題が発生した場合は、ただちに乾電池を取り出す、または電源ケーブルを抜いてください。そのまま使用すると、火災や感電などの原因となります。

指示

- ・ 使用中・保管時に、発煙・異臭・異音などが発生した場合
- ・ 本製品内部に水や異物が入った場合
- ・ 本製品を落とした場合
- ・ 本製品が破損した場合

- 乾電池の液漏れや、変色、変形そのほかの異常があった場合は、ただちに使用を止め乾電池から漏れた液体が皮膚や服についた場合は、ただちに水で洗浄して下さい。万一、液体が目に入ってしまった場合には、ただちに大量の水で洗浄してください。
- コードが傷んだり、異常に熱くなった場合は、ただちに本体の電源をオフにし接続を外してください。そのまま使用すると火災や感電などの原因となります。



禁止

- 本製品を火中や水中に投入したり、加熱したりしないでください。乾電池の液漏れ、発熱、発火、破裂により大ケガや火災の原因になります。
- 落としたり、投げたりして衝撃を与えないでください。本製品の故障の原因となり修理ができません。
- 本体内部に異物を入れたり、端子部に接触させたりしないでください。金属類や紙などの燃えやすい物が内部に入ったり、端子部に接触すると火災や感電などの原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 自動車やバイク、自転車などの運転中や歩行中は本製品を使用しないでください。交通事故の原因となります。
- 梱包で使用しているビニール袋は乳幼児の手の届く所に置かないでください。鼻や口をふさいで窒息するなど、ケガの原因となることがあります。
- ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所や振動のある場所に置かないでください。本体が落下してケガの原因となります。



分解禁止

- お客様ご自身での修理、改造、分解をしないでください。火災や感電の原因となり修理できません。



ぬれ手禁止

- 濡れた手で電源コードを抜き挿ししないでください。感電の原因となります。



水ぬれ禁止

- 本体内部に水が入ったり濡れたりしないようご注意ください。火災・感電の原因となります。
- 風呂場、シャワー室などでは使用しないでください。感電や回路のショートなどによる火災や故障の原因となります。

注意



禁止

- 本製品の上に物を乗せたり、本来の目的以外に使用したりしないでください。ケガや故障の原因になります。
- 直射日光の当たる場所、車の車内や温室などの温度や湿度の高いところに置かないでください。火災・やけど・感電の原因になることがあります。
- 殺虫剤や揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色、塗装はげの原因となります。
- 本製品に磁気を帯びたものを近づけないでください。強い磁気を近づけると誤作動の原因となります。また、磁気カードなどを本製品に近づけないでください。キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
- 本製品を使用しているときに身体に疲労感、痛みなどを感じたときは、ただちに使用を中止してください。
- ほかの電気機器の近くで使用した場合、お互いが干渉し雑音が発生する場合があります、特に近くにテレビやパソコンなどの機器がある場合、雑音が大きくなる場合があります。その場合は離れた場所でご使用ください。
- 旅行などで長期間ご使用にならない場合は、安全のため乾電池を本体から抜く、または電源コードを抜いてください。思わぬけがや火災、故障の原因となり大変危険です。またその場合は修理できませんのでご注意ください。
- 本製品を長時間使用する場合、特に高温環境では熱くなることがありますので注意してください。
- 電源プラグが傷んでいたり、コンセントの挿し込みがゆるいときは使用しないでください。火災や感電の原因となります。
- 電源プラグや端子に付いたほこりは、乾いた布で拭きとってください。火災や感電の原因となります。



ぬれ手 禁止

- 本製品を濡れた手で扱わないでください。火災や感電の原因となり大変危険です。また水濡れが原因で発生するショート・電池の液漏れ等が原因で故障した場合は修理できません。



指示

- 電源プラグは、根元まで確実に挿し込んでください。挿し込みが不完全な場合ほこりが付着して火災や感電の原因となります。



電源プラグ を抜く

- 旅行などで長期間ご使用にならない場合は、安全のため電源コードをコンセントから抜いてください。万一故障してしまった場合火災の原因となる場合があります。

電波法 電気通信事業法に関するご注意

改造された本製品は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法/電気通信事業法に抵触します。

- 本製品を分解して内部の改造を行った場合、電波法および電気通信事業法に抵触しますので絶対に使用されないようお願いいたします。

電波障害に関するご注意

本製品は一般的な屋内の環境で使用することを目的としていますが、本製品をラジオやテレビの近くで使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。そのような場合は以下の点にご注意ください。

- 本製品をラジオ、テレビから十分に離してください。ケーブルは付属のものを使用してください。

お手入れに関して

- 本体の汚れは柔らかい布で軽く拭き取ってください。
- 汚れがひどい場合は、布を水で薄めた中性洗剤に浸し、よく絞ってから拭き取り、乾いた布で仕上げてください。ベンジンやシンナーは絶対使用しないでください。変色したり、塗装がはげたりするなどの原因となります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。

結露(つゆ付き)に関して

- 結露が発生した状態で本製品を使用すると、故障の原因となる場合があります。結露は以下の状況で発生する場合があります。
 - ・ 寒い場所から急に暖かい場所へ本製品を持ち込んだ時
 - ・ 暖房をつけ始めた場所や、エアコンなどの冷風が直接あたる場所で使用した時
 - ・ 冷房がついた部屋、車内などから急に温度、湿度の高いところに移動して使用した時
 - ・ 湿気の多い場所で使用した時
- 結露が発生した場合は本製品をすぐに使用しないでください。本製品を2~3時間程度室温で放置し付着した水滴がとれるまでお待ちください。

廃棄について (リサイクル)

- パッケージの分別方法は地域によって異なります。お住いの市町村の指示に従って分別排出してください。識別マークは外箱に表示されています。

各部の名称と使用方法

① FMアンテナ	⑤-4 巻戻しボタン
② 可倒式グリップハンドル	⑤-5 再生ボタン
③ CDプレーヤーカバー	⑤-6 録音ボタン
④ CDプレーヤーカバーフック	⑥ 機能切替(電源)スイッチ
【カセットテープ操作部】	⑦ 音量ダイヤル
⑤-1 一時停止ボタン	⑧ 電源ランプ
⑤-2 停止 / 取出しボタン	⑨ ディスプレイ
⑤-3 早送りボタン	⑩ FM STランプ

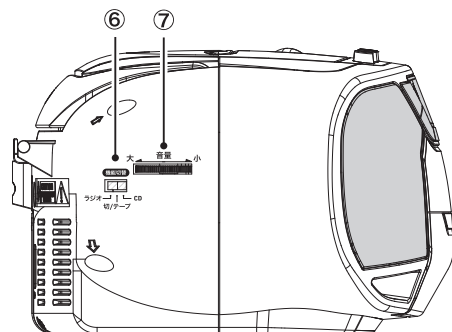
【基本操作】

② 可倒式グリップハンドル

持ち運び時に使用します。使用しない時は後ろに倒してください。

⑥ 機能切替(電源)スイッチ

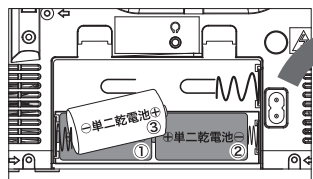
スイッチが真ん中(テープ)で⑤カセットテープ操作ボタンが押されていない状態が電源オフです。



【乾電池の入れ方】

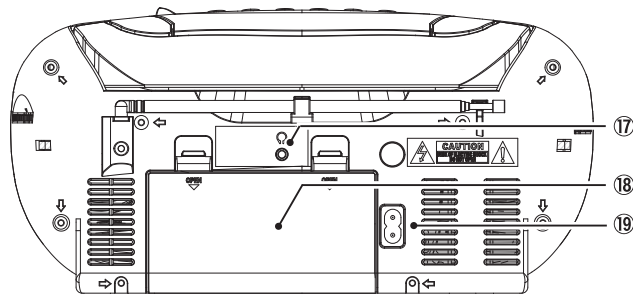
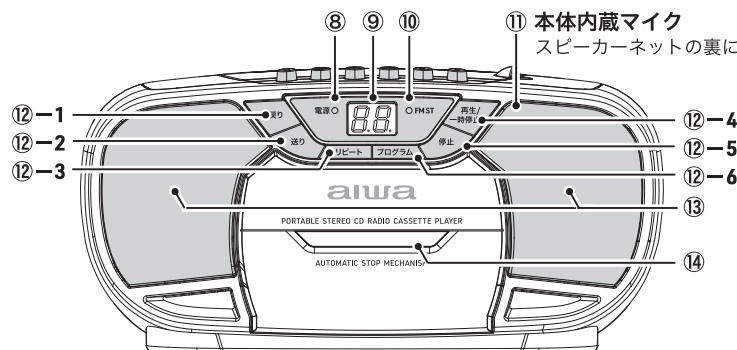
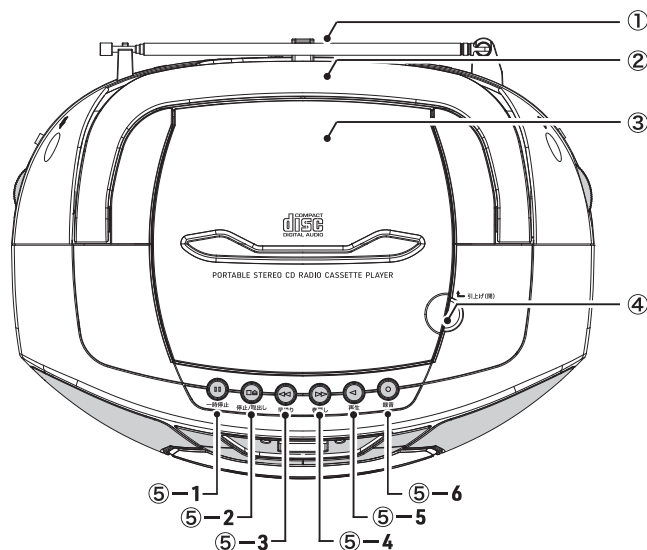
乾電池で使用する場合は単二乾電池が6本必要です。(アルカリ推奨)
電池格納部は上下2段になっており下段は手前と奥で4本挿入します。

- 電池格納カバーのOPEN部分のレバーを下げカバーを外します。



※電池の向き
上段 ⊕ ← ⊖
下段手前 ⊖ → ⊕
下段奥 ⊕ ← ⊖

- ④を左に向け下段奥左の電池①をセットします。下段奥右の電池②をセットし④を右に向け電池③をセット、向きに気をつけて6本すべてセットします。
- 乾電池のセットが完了したら⑩電池格納部カバーをセットします。



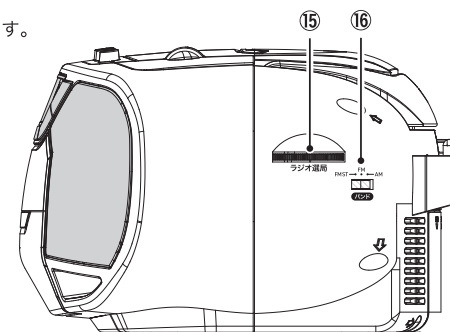
⑪ 本体内置マイク	⑬ スピーカー
【CD操作操作部】	⑭ カセットドア
⑫-1 戻りボタン	⑮ ラジオ選局ダイヤル
⑫-2 送りボタン	⑯ ラジオバンド切替スイッチ
⑫-3 リビートボタン	⑰ イヤホンジャック
⑫-4 再生 / 一時停止	⑱ 電池格納部カバー
⑫-5 停止ボタン	⑲ 電源コード挿し込み口
⑫-6 プログラムボタン	

【基本操作】

⑦ 音量ダイヤル

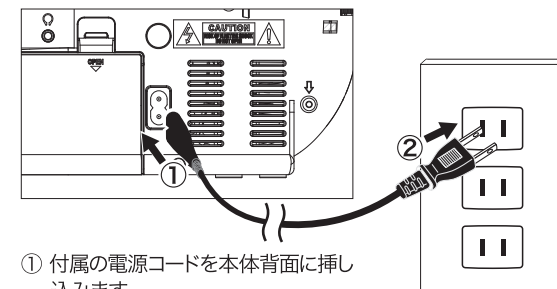
左(大)に回すと音が大きく、右(小)に回すと音が小さくなります。

- ⑧ 電源ランプ 本体の電源がオンの時、赤く点灯します。



【電源コードのつなぎかた】

電源コードで使用する場合は以下の手順で接続してください。



- 付属の電源コードを本体背面に挿し込みます。
- 付属の電源コードをコンセントに挿し込みます。

CDの取り扱いに関するご注意

- 本機で使用可能なディスクは右のマークのある市販のCDもしくはCD-R/RWです。CDG/CDV/CD-I/CD-ROM/DATA-DISC/DVD/BDなどは使用できません。またMP3などの圧縮ファイルは再生できません。
- コピーガード付きCD(CCCD等)は再生できない場合があります。

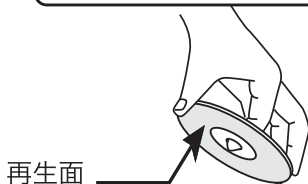


ディスクの取り扱いについて

ケースから取り出すときはホルダーを押さえ、再生面に触れないよう取出します



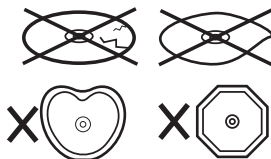
再生面には手を触れないでください。



印刷面を上にも真ん中を押さえてしまいます。

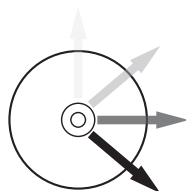


- ひび割れや変形したディスク、またはテープや接着剤で補修したディスクは危険ですので使用しないでください。
- 再生面・印刷面にテープやふせんを貼らないでください。
- ハート型や八角形などの特殊形状ディスクやラベルなどが貼付されたディスクは使用しないでください。故障の原因になります。



ディスクのお手入れについて

- シンナーやベンジン、レコード盤用クリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。ディスクを傷める恐れがあります。
- CDを拭く時には柔らかいタオル等をご使用ください。ティッシュペーパーはディスクに細かな傷がつくので使用しないでください。
- CDを拭く時には中心から外側に放射状にまっすぐ拭いてください。CDは同心円状の傷に弱く再生できなくなる場合があります。



※少しずつずらしながら放射状に全体を拭く

CDレンズ保護シートについて

- 運搬中などにCD読取レンズユニットの破損を防ぐ目的で、CDプレイヤー内部に紙製のCDレンズ保護シートがあります。初めてご使用される際には、CDレンズ保護シートを取り除き、破棄してください。そのまま使用すると再生ができず、CDや機械を破損する恐れがありますのでご注意ください。



ラジオの受信状態に関するご注意

- ラジオは受信する場所によっては弱電界や建物等の死角となり受信できない場合があります。
 - ※近隣にビル、団地やマンションなどがある場所。
 - ※地下やトンネル内など電波の届かない場所。
 - ※山間部や海の近くなど電波の届きにくい場所。
 - ※近くに幹線道路、高速道路、鉄道などがある場所など。
- 本機のFMラジオは本体背面のアンテナで受信します。アンテナの向きを変えることにより受信状態が改善する場合がございます。
- 本機のAMラジオは本体内蔵のバーアンテナで受信します。ご使用の場所、本体の向き、高さを変えることにより受信状態が改善する場合がございます。
 - ※同じ家の中でも窓際の方が良く受信できます。
 - ※ラジオ送信所の位置により、本体の向きや高さを変える事で受信状態が変わります。
- AM（民放）ラジオが受信しにくい場合はワイドFMでの受信をお試しください。
 - ※各地域の対応放送局は新聞または総務省のホームページでご確認下さい。

カセットテープの取り扱いに関するご注意

- カセットテープのご使用は60分以下のものを推奨します。

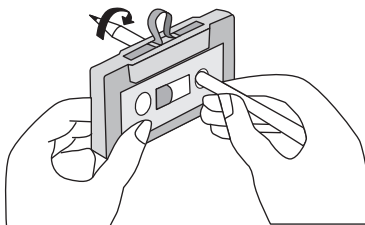
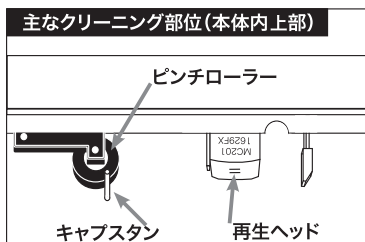
60分を超える物はテープの劣化等の影響で絡まりやすいためテープが切れ故障の原因となります。60分以下のカセットテープのご使用を推奨します。
- 本機の仕様はノーマルタイプ(Type I)再生です。

ハイボジ(Type II) / フェリクロム(Type III) / メタル(Type IV)の再生はできません。
- 定期的なクリーニングをしてください。

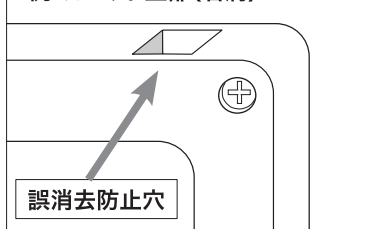
再生中に音がこもったり小さくなった、聴こえなくなった場合はまれに磁性体（テープに使用されている金属粉）や異物がピンチローラーや再生ヘッドに付着している場合があります。市販のヘッドクリーナーや綿棒などを使用して再生ヘッドをクリーニングしてください。
- テープのたるみにはご注意ください。

再生時にテープがたるんでいると本体に絡まりテープにダメージを与える可能性があります。再生前に右図のように鉛筆などで直してからご使用ください。
- カセットテープには誤消去防止機能があります。

買ったばかりの空のカセットにはカセット上部の左右両端に誤消去防止の爪があります。録音後に爪が折られたカセットや市販のミュージックテープは四角い穴が開いた状態であり、録音ボタンが下がりません。再録音する場合は四角い穴をセロハンテープ等で塞いでください。



※例:カセット上部(右肩)



CDの使い方

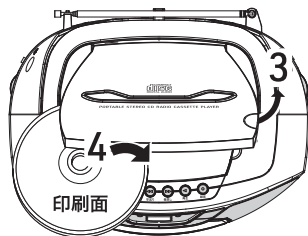
本機のCDプレーヤーでは音楽CD (CD-DA) のみ再生可能です。MP3等が格納されたデータCD、CD-R/CD-RWは再生できません。

1. [⑥ 機能切替 (電源) スイッチ]をCDの位置に合わせます。 ※⑧電源ランプが点灯します。

2. [⑨ ディスプレイ]に **88** が点滅し、CDが入っていない場合 **88**が表示されます。
※CDがセットされている場合は 5.へ

3. ④ CDプレーヤーカバーフックに指を掛け ③ CDプレーヤーカバーを真上に引き上げて開きます。

4. 文字や写真が印刷されている「印刷面」を上、何も印刷されていない記録面を下にして中心の回転軸に「カチッ」とはまるまでセットします。



5. 手でゆっくりと ③ CDプレーヤーカバーを閉じます。線が点滅し読み取りが終わると曲数が表示されます。 [⑫-4 再生/一時停止]ボタンを押してCDを再生します。

6. 再生中 [⑫-1 戻りボタン][⑫-2 送りボタン]でトラックの移動、 [⑫-4 再生 / 一時停止ボタン]を押すと曲の途中で一時停止します。再度押すと再生を再開します。

7. 再生中 [⑫-5 停止ボタン]を押すと完全停止します。

○ リピート 再生機能

停止または再生中に [⑫-3 リピート ボタン]を押すことでCDのリピート再生が可能です。

8. 停止中または再生中に [⑫-3 リピートボタン]を押すと1曲リピート→全曲リピート→オフの順番で切り替わります。

88 一曲リピート … 再生中または停止中に選曲した一曲を繰り返し再生します。(左の点が点滅)

88 全曲リピート … CDに収録された全曲を通して繰り返し再生します。(左の点が点灯)

※ [⑫-3 リピートボタン]を押し、1曲リピート(左の点が点滅) → 全曲リピート(左の点が点灯) → オフ(左の点表示なし)にする、または③CDプレーヤーカバーを開けると解除されます。

○ プログラム再生機能

本機のCDプレーヤーでは音楽CD (CD-DA) に収録された曲を、最大20曲まで登録して再生することが可能です。

9. CDの停止中に[⑫-6 プログラムボタン]を押します。⇒「01 (プログラム番号)」が点滅表示。
10. プログラム番号が点滅中に[⑫-1 戻りボタン][⑫-2 送りボタン]を押し、登録する曲番号を表示させます。⇒「5 (曲番号)」が点灯表示。※CDの5曲目を登録する場合
11. 「5 (曲番号)」が点灯表示中に[⑫-6 プログラムボタン]を押し確定します。⇒「02 (プログラム番号)」が点滅表示。
12. 上記10.～11.を繰り返して、最大20曲まで登録が可能です。20まで登録が完了すると登録された曲番号が順に表示され、最後に01 (プログラム番号) が点滅表示されます。(一時停止状態)
13. [⑫-4 再生/一時停止ボタン]を押すと、登録された順番に再生されます。
14. [⑫-5 停止ボタン]を2回押す、または③CDプレーヤーカバーを開けると解除されます。

※19曲以下の登録の場合は次のプログラム番号が点滅している状態で[⑫-4 再生/一時停止ボタン]を押すと、登録された順番に再生されます。停止ボタンを一度押すと、プログラム登録されている曲数が表示され、[⑫-1 戻りボタン][⑫-2 送りボタン]を押すことで登録された曲番を確認する事が可能です。

※プログラム再生機能とリピート機能は併用可能です。プログラム再生中に前項目「リピート再生機能」に従って操作してください。

ラジオの使い方

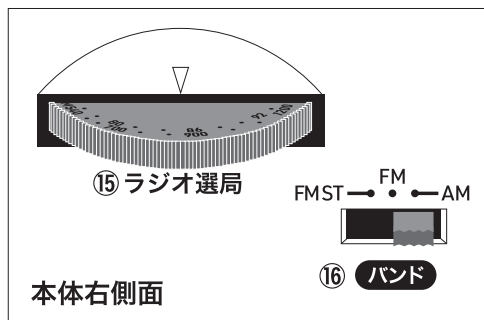
本機ではAMラジオ/FMラジオが受信可能です。

1. [⑥ 機能切替 (電源) スイッチ]をラジオの位置に合わせます。 ※⑧電源ランプが点灯します。
2. [⑩ ラジオバンド切替スイッチ]をAMまたはFMSTに合わせます。
3. FMラジオを受信する場合は[① FMアンテナ]を伸ばします。AMを受信する場合は本体内蔵のバーアンテナで受信しますので、受信状態により本体の向き/高さ/場所を変えてください。
4. [⑮ ラジオ選局ダイヤル]を回してチューニングします。

※[⑮ ラジオ選局ダイヤル]の目盛りはチューニングの目安です。受信音を聴きながら操作して最適な受信ポイントを探してください。

※FMラジオをチューニングする際は、最適な状態で点灯する[⑩ FM ST]ランプを目安にチューニングしてください。

※FMラジオを受信する際に、チューニング後の雑音が多い場合は[⑩ ラジオバンド切替スイッチ]をFMに切り替えてください。モノラル受信になり雑音が軽減されます。



カセットデッキの使い方

※P10[カセットテープの取扱に関するご注意]をよく読んでご使用ください。

1. [⑥ 機能切替（電源）スイッチ]を切/テープの位置に合わせます。 ※電源オフの状態
2. [⑤-2 停止/取出しボタン] で⑭カセットドアを開きます。
3. カセットテープが露出している面を上に向け蓋の内側にセットして、カセットごと蓋を閉めます。
※本機は中のテープが右から左へ巻きとられますので右側の穴にテープが巻かれた状態でセットしてください。

4. [⑤-5 カセットテープ再生ボタン]を押して再生します。

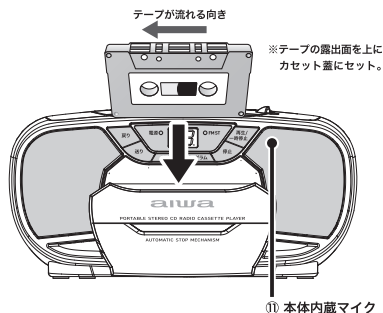
※片面が全て巻き取られると[⑤-5 カセットテープ再生ボタン]が自動で上がります。上記 3.の操作を行い反対側の面を再生してください。

5. 再生中に[⑤-1 カセットテープ一時停止ボタン]を押すと再生が一時的に停止します。再度[⑤-1 カセットテープ一時停止]ボタンを押すと再生が再開します。

6. [⑤-4 カセットテープ巻戻しボタン]を押して巻戻し、[⑤-3 カセットテープ早送りボタン]を押して早送りします。

※本機には頭出し機能はありません。また、早送り・巻戻し中もスピーカーから音は聴こえません。テープの巻き取り量を目安に[⑤-2 カセットテープ停止/取出しボタン]で止めてください。

※巻取が終了しても[⑤-4 カセットテープ巻戻しボタン][⑤-3 カセットテープ早送りボタン]は自動で上がりません。[⑤-2 カセットテープ停止/取出しボタン]で止めてください。



■カセットテープへの録音方法

本機は各機能[ラジオ/CD/外部音声]からカセットテープへの録音が可能です。

7. 空のカセットテープをセットして録音したい各機能に切り替えます。
8. 各機能の音が聴こえる状態で[⑤-6 カセットテープ録音ボタン]を押します。
※声や楽器演奏など外部音声を録音する場合、右スピーカー上部の[⑪ 本体内蔵マイク]にできるだけ近い位置（1m程度）で録音してください。録音距離が遠いほど録音される音が小さく、遠くて鳴っているような音になります。
9. [⑤-5 カセットテープ再生ボタン]が同時に下がり、両ボタンが下がった状態であれば録音がされています。
10. 録音を終了するには[⑤-2 カセットテープ停止/取出しボタン]を押してください。

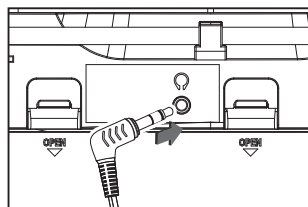
イヤフォンの接続方法

※本機のイヤフォンジャックは3.5mmステレオミニジャックです。モノラル（片耳タイプ）のイヤフォンは正しく再生されないため使用できません。

1. 本体背面にある[⑭ イヤフォンジャック]に、3.5mmステレオミニプラグのイヤフォンを挿し込んでください。

※イヤフォンを接続して使用する時は、スピーカーから音は出ません。

※モノラル（片耳タイプ）イヤフォンでは左右片方の音しか聴こえません。必ずステレオタイプのイヤフォンをご使用ください。



故障かな？と思ったら

共 通	音が出ない	○ 本体の電源はオンになっていますか？ ○ 電源コードが抜けていませんか？本体背面及びコンセントの電源コードを挿し直してください。 ○ 電池でご使用時は全ての電池を新しい物に交換してください ○ 音量が小さくなっていませんか？[⑦音量 ダイアル]を大に回してください。 ○ イヤフォンが挿さったままになっていませんか？イヤフォンを抜いてください。
カセットテープ	再生できない	○ テープは正しく録音されたものですか？ ○ 機能切替はテープになっていますか？ ○ 再生ヘッドが汚れていませんか？ ○ テープは巻戻されていますか？
	録音できない	○ 誤消去防止の爪が折れていませんか？ ○ 録音したい音源の機能に切り替わっていますか？ ○ 内蔵マイクでの録音は、音源から距離が離れていると十分な音量で録音されません。本体を音源に近づけて録音してください。
ラジオ	受信できない	○ ロッドアンテナが伸びていますか？（FM受信時） ○ 本機のAMは本体内蔵アンテナで受信します。本体の向き・高さ位置により受信状態が異なります。本体の場所を変えてください。

アフターサービスについては、直接下記サポート窓口までお問い合わせください。

サポートセンター

TEL:0570-055-054 (ナビダイヤル 有料)

FAX:048-997-2082 (有料)

受付時間 10:00～12:00、13:00～17:00 (土、日、祝祭日および当社規定休業日を除く)

Eメールアドレス : aiwa@tohshoh.jp

- 通話中の場合、しばらく経ってからおかけ直してください。
 - サポートセンターの電話番号、対応時間などは予告なく変更することがあります。
 - 年末年始などのサポートセンターの休業日には、お客様への対応ができない場合がございます。
- ※本製品に関するお問い合わせ、サポート、サービスについては、日本国内限定とさせていただきます。

〈販売元〉

株式会社とうしょう (aiwa 特約エージェント)

〒340-0802 埼玉県八潮市鶴ヶ曽根1442-1